

築堤

狭窄部対策

藤崎狭窄部周辺環境



紀仙郷県立自然公園
流し雛が3月に行われる

藤崎狭窄部周辺環境

築堤

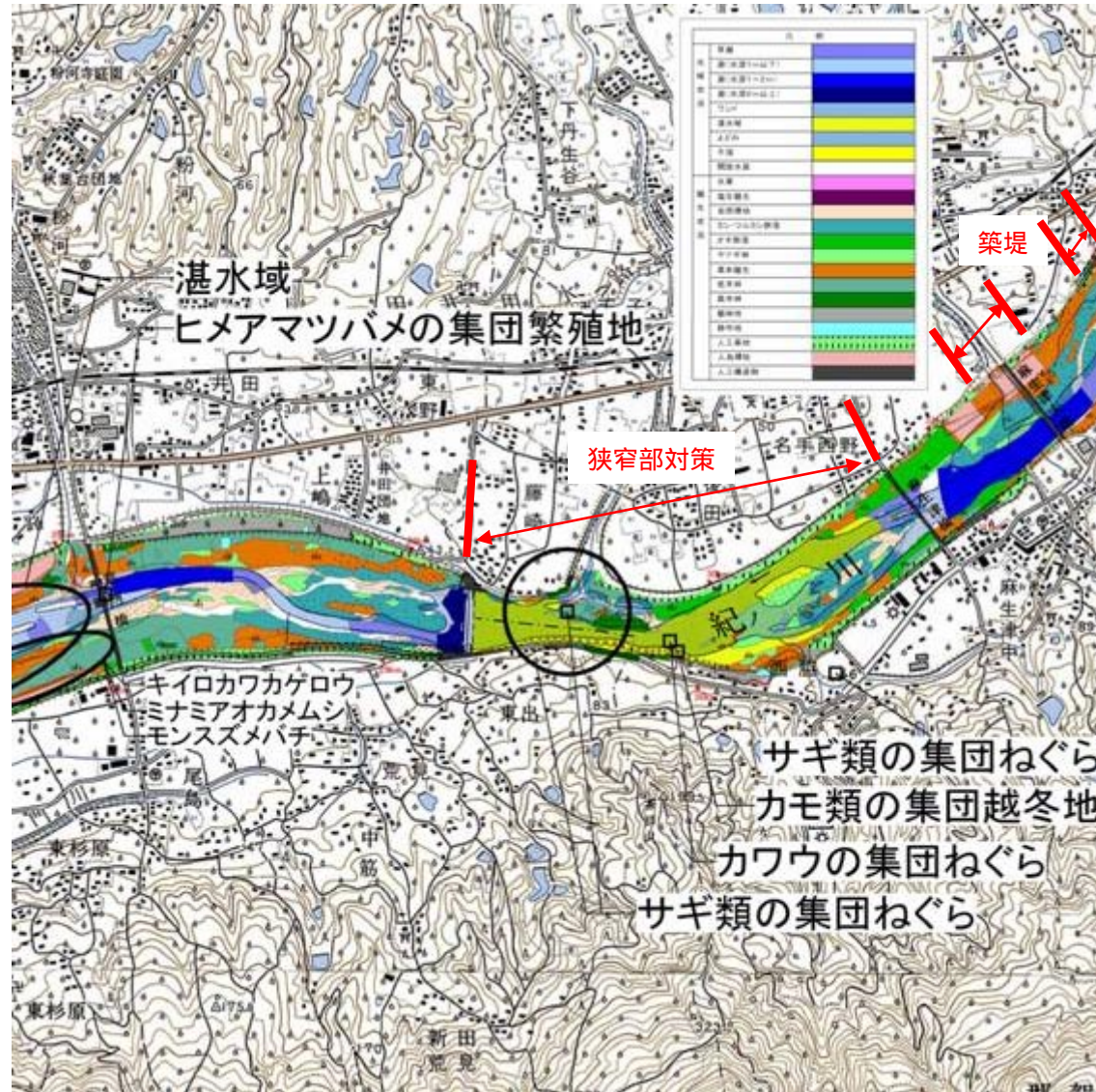
狭窄部対策

【河道内について】

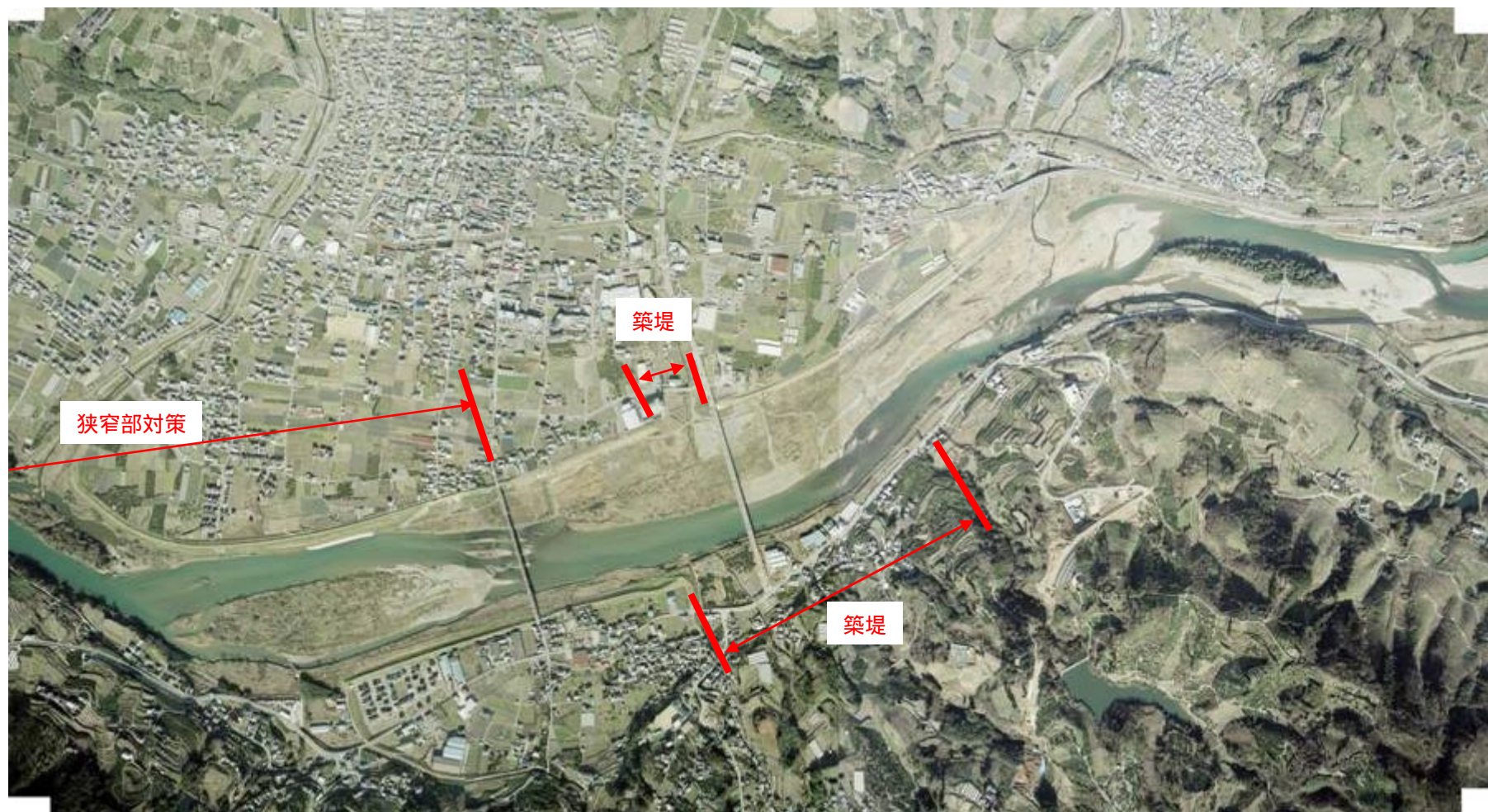
- 藤崎井堰が築造される前には現在の堰の位置の上下流には寄洲が発達していた。
- 現在、堰の堰の直上部は湛水域となっているが、湛水域の上流及び藤崎井堰の下流部には砂礫洲が形成されている。
- 河床は石質であり、おもに浮き石となっている。
- 堰上流側にはワンドが見られ、生物の重要な生育場所となっているものと考えられる。
- 名平川合流部には「藤崎の法華経岩」がある。
- サギ類の集団ねぐら、カモ類の集団越冬地がある。

【河川敷について】

- 発達した中州にはヤナギ林、ヨシ・ツルヨシ群落、砂礫地などが成立しており、近年大きな洪水が起こっていないことを伺わせるとともに、様々な生物の生息場所になっているものと考えられる。



麻生津大橋周辺の環境



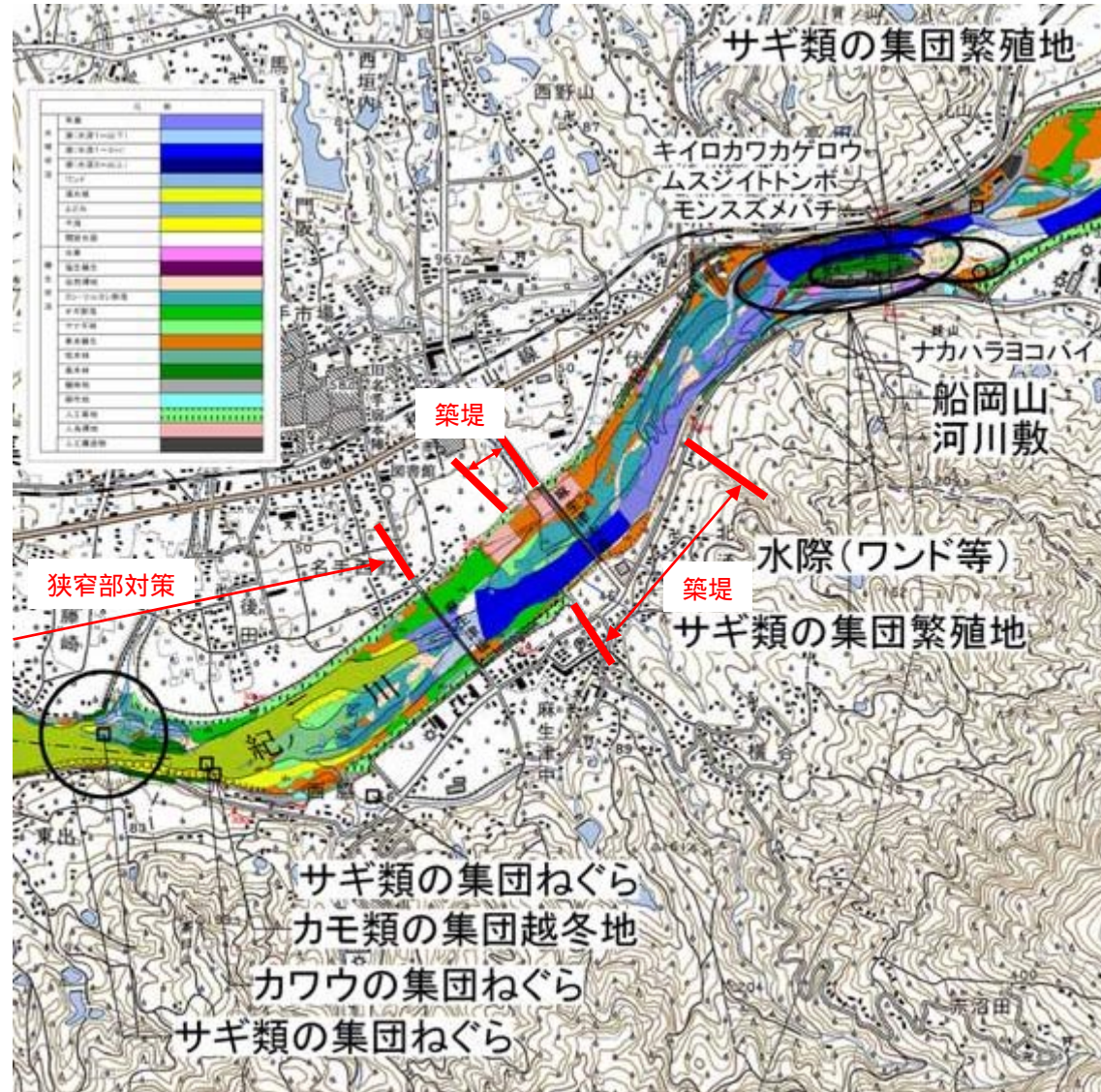
麻生津大橋周辺の自然環境

【河道内について】

- 築堤区間付近の河道内は淵になっている。麻生津大橋寄りも下流部のほうが上流部よりも深い。
- 河床は石質であり、おもに沈み石となっている。
- サギ類の集団繁殖地・集団ねぐら、カモ類の集団越冬地がある。

【河川敷について】

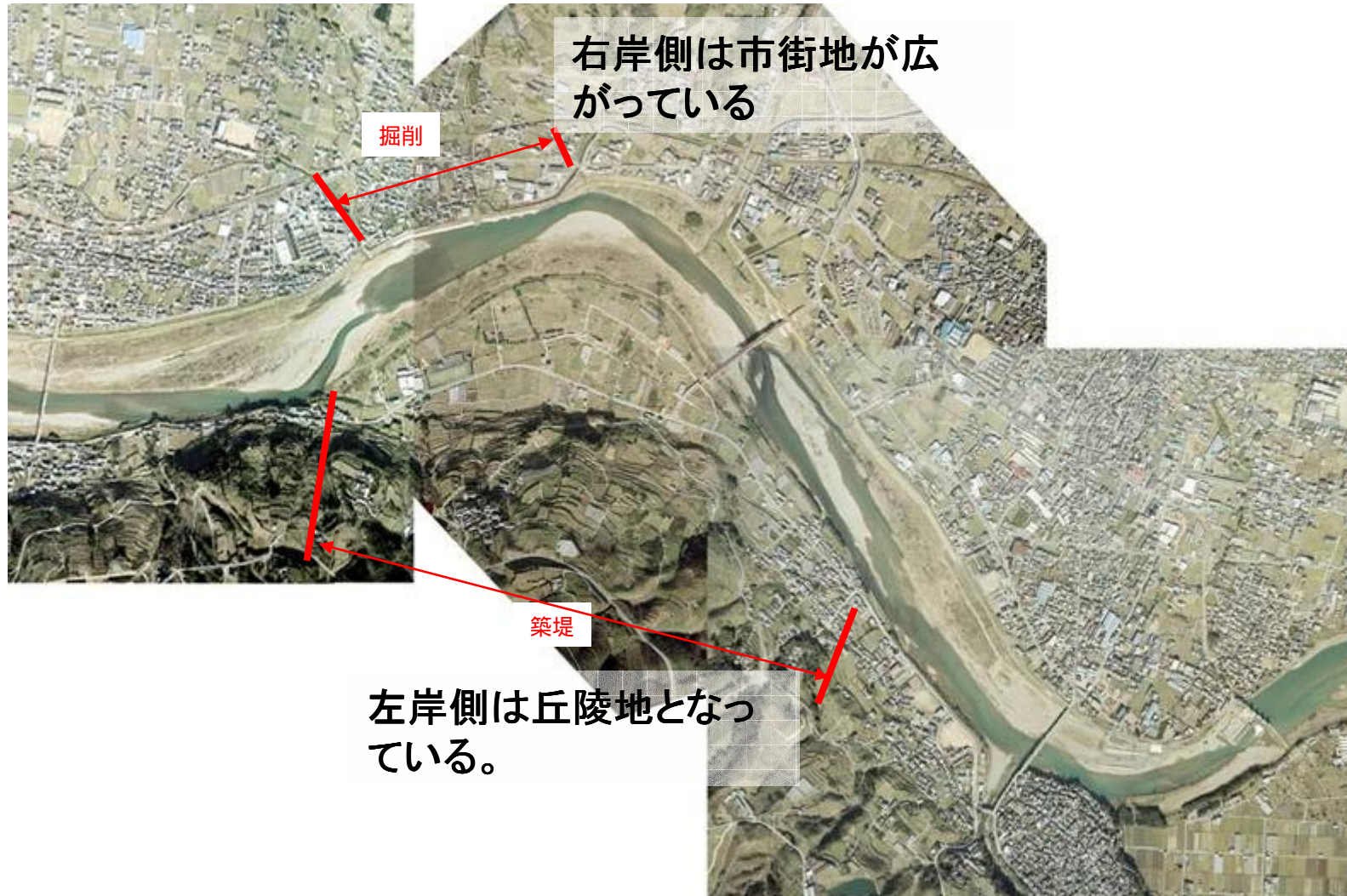
- 右岸側の河川敷が発達しており、主にヨシ・ツルヨシ群落広がっている。カヤネズミやオオヨシキリの生息場所になっているものと考えられる。
- 堤防付近はグラウンド等に利用されている。



高野参詣大橋付近の環境

築堤

掘削



高野参詣大橋付近の自然環境

築堤

掘削

【河道内について】

- 大きく蛇行し、早瀬とM型の淵が見られる。
- 河床は礫質である。
- ワンドが見られ、生物の重要な生育場所となっているものと考えられる。
- カモ類の集団越冬地がある。

【河川敷について】

- 砂礫地があり、カワサイコなどの植物やコチドリなどの生育・生息地となっている可能性がある。

